

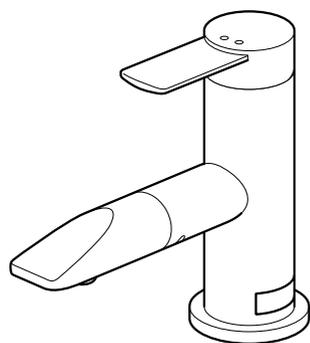
吐水口回転式 シングルレバー混合水栓

LF-X340SR型

LF-X340SRC型

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 各部の名称	1
■ 安全上のご注意	1
■ ご使用前に	5
■ ご使用方法	5
■ 冬期凍結の恐れがある場合	8
■ 日常のお手入れ	9
■ 定期的なお手入れ	9
■ 定期的な部品交換のお願い	10
■ 修理を依頼される前に	11
■ アフターサービスについて	13

保証書 裏表紙

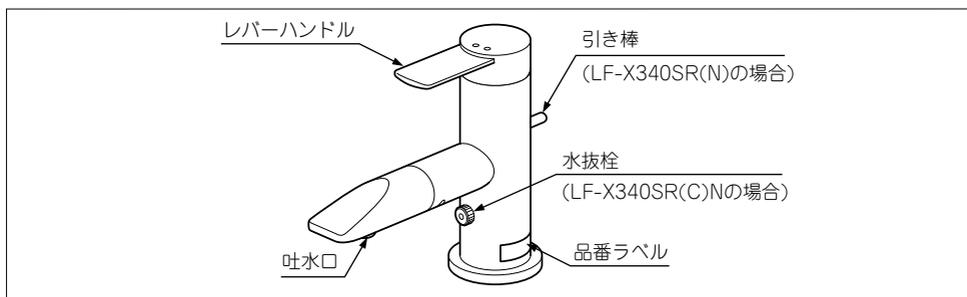
はじめに

つかいかた

お手入れ

こんなときは

各部の名称



安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



..... 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



..... 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



..... 「分解してはいけません！」

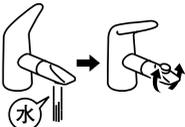
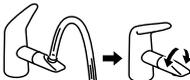


..... 「指示した場所には触れてはいけません！」

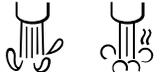
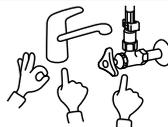


..... 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告：ヤケドをしないために

 <small>(禁止)</small>	<p>小さいお子さまだけの使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをする恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>お湯の使用中に、他所の水栓の同時使用のないように、注意してください。 ※圧力変動がおこり、湯温が急上昇して、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(分類)</small>	<p>修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>水栓の左側は給湯側のため高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>高温の湯をお使いのときには、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>給湯温度は最高85℃まででお使いください。 ※85℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなり、破損して、ヤケドをする恐れがあります。 なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>吐水口は360°回転します。下向きのまましばらく水を流してから止水し、吐水口を上向きに回転させてお使いください。 ※高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。 ※水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>上向き吐水でお使いの後は、必ず吐水口を下向きに戻してください。 ※次に使用される方が吐水口が上向きのまま開栓すると、高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	

⚠ 警告：ヤケドをしないために

 <small>(指示)</small>	<p>お湯をお使いになるときは、必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。 ※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。</p>	<p>給水圧力 ≥ 給湯圧力</p> 
 <small>(指示)</small>	<p>お使いになる前に、必ず素手で適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、しばらく水を流してください。 ※次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。 ※次の使用者が誤って高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>定期的に、配管の漏水やガタつきがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>【寒冷地用の場合】 水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 ※水抜栓をいきなり開けると高温の湯が吐出し、ヤケドをしたり、湯水がふき出して、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	

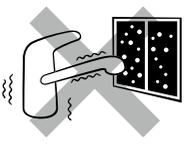
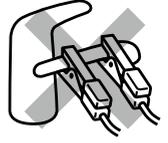
⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 <small>(禁止)</small>	<p>製品に強い力や衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損や漏水の原因となります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけたりしないでください。 ※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因となります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>レバーハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、お止めください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	

⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 <small>(禁止)</small>	<p>オーバーフロー穴のないタイプの手洗器・洗面器と組み合わせる場合、あふれ防止のため吐水中はその場を離れないください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>吐水口は360°回転します。吐水口の回転は、レバーハンドルを閉めた状態で行ってください。 ※レバーハンドルを開けたまま回転させると、袖口などを濡らす恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>圧力変動により流量が増え、上向き吐水時に洗面器の外に水が飛び出ることがあります。このような場合は、カウンター下の止水栓にて流量を絞ってください。 ※家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>レバーハンドルを操作するときは、ゆっくり動かしてください。 ※急に操作すると音が出たり、吐出温度が急に変わります。 ※急な操作を行うと、洗面器の外へ水が飛び出る恐れがあります。</p>	

⚠ 注意：凍結防止のために

 <small>(禁止)</small>	<p>凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。(寒冷地使用の場合は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。) ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>【寒冷地用の場合】 凍結時に解氷機をご使用の際は、水栓本体部には絶対に通電しないでください。 ※発熱により水栓が破損し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>【寒冷地用の場合】 凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜操作を同時に行ってください。(P.8参照) ※凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	

ご使用前に

●給湯機器と組み合わせてご使用の場合

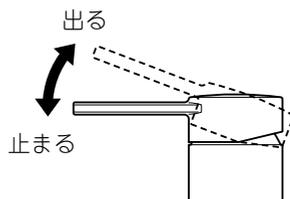
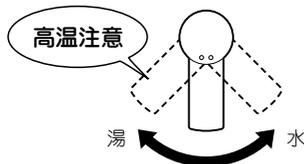
- 給湯温度調節機能（リモコン）がない給湯機器ではご使用になれません。



- 給湯圧力が低いときや水温が高いときは、給湯機器が着火しない場合があります（直圧式給湯機器の場合）。
この場合は給湯機器の設定温度を下げ、レバーハンドルを少し湯側へ回してご使用ください。
- 能力切替付の給湯機器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
※流量を絞って使用すると給湯機器が着火しない場合がありますので、ご注意ください。（直圧式給湯機器の場合）

ご使用方法

●どんな機能があるの？



レバーハンドルを上げ、左方向に回すと吐水温度が上がり、右方向に回すと吐水温度が下がります。（高温ヤケド注意）

レバーハンドルを上げると吐水し、上げ具合で流量を調節できます。レバーハンドルは左右どの位置でも下げると止水します。

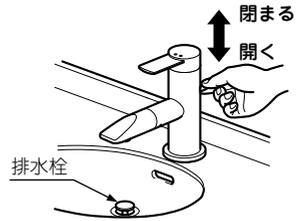
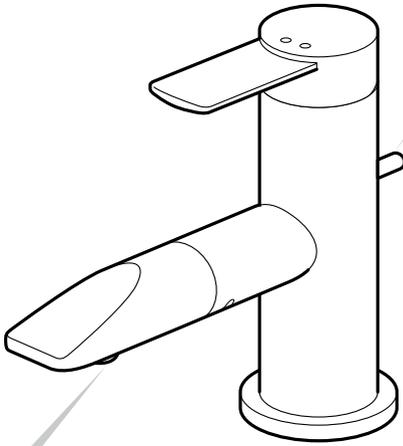
お湯の温度調節

水を出す・止める・吐水量の調節



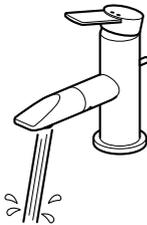
排水栓の操作 (LF-X340SR(N)の場合)

引き棒を引っ張ると排水栓が閉じ、引き棒を戻すと排水栓が開きます。



吐水口回転式

- 吐水口は360°回転します。
- 吐水口は上向きまたは下向きでご使用ください。
※洗面器の外への水の飛び出しを防ぐために、横向きでは流量が減ります。



下向きでは手洗いなど通常使用ができます。



上向きではうがいや歯磨きに便利です。

- 吐水口の回転は、レバーハンドルを閉めた状態で行ってください。
 - ※レバーハンドルを開けたまま回転させると、袖口などを濡らす恐れがあります。
 - ※レバーハンドルを開けた状態では、吐水口の回転操作が重く感じる場合があります。



- 上向き吐水でお使いの後は、必ず吐水口を下向きに戻してください。
 - ※次に使用される方が吐水口が上向きのまま開栓すると、高温の湯が出てヤケドをするおそれがあります。
- 上向き吐水でお使いの際は、下向きのまましばらく水を流してから止水し、吐水口を上向きに回転させてお使いください。
 - ※高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。
 - ※水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。

冬期凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。

●凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

【一般地用をご使用の場合】

凍結が予想される場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合もあります。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 配管などに保温材を巻く。

【寒冷地用をご使用の場合】

凍結が予想される場合は、次の手順に従って配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。

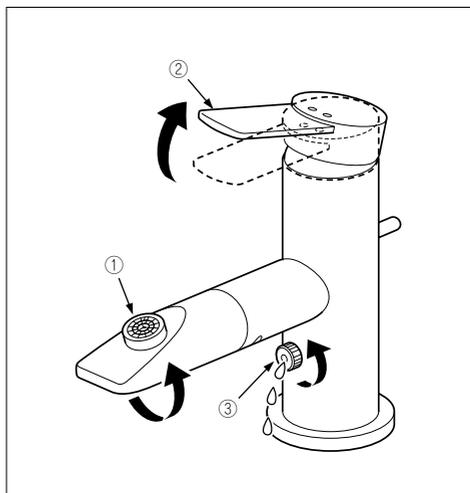
1. 配管の水抜栓を操作する。
2. 吐水口先端①を上向きにする。
3. レバーハンドル②を開ける。
4. 水抜栓③を開ける。
5. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドル②を閉めて、吐水口先端①を下向きにする。

※レバーハンドル②を開けた

まま放置すると、閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず、自然解凍してください。

※吐水口先端①を上向きのまま放置すると、下向きにできなくなる場合があります。自然解凍後下向きにし、通水してください。

※再通水前には水抜栓③を閉めてください。



日常のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。
- 水栓の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
 - クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
 - 酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ナイロンたわし、ブラシ等
 - シンナー、ベンジン等の溶剤
- 壁面タイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。



定期的なお手入れ

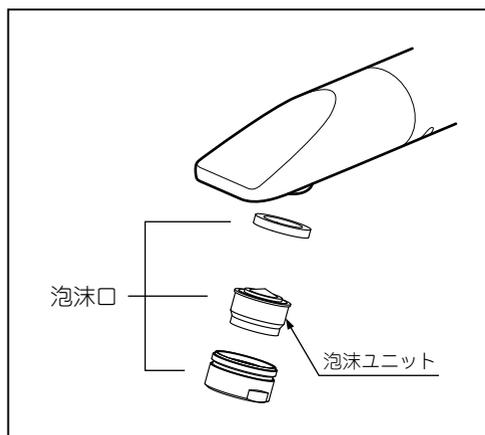
●泡沫口の掃除

吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除してください。

泡沫口を工具（スパナ（対辺19））で取り外し、泡沫ユニットを水で掃除してください。

※泡沫口の取外しの際には、必ず、布などを当てて工具を掛けてください。

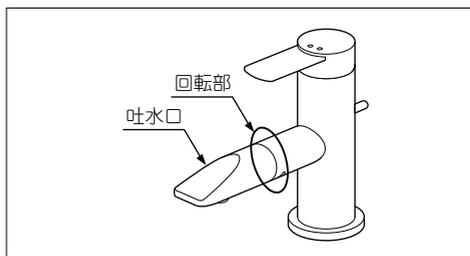
直接工具を掛けると、泡沫口をキズつける場合があります。



●吐水口の掃除

吐水口を汚れたまま放置すると、回転部に付着したゴミなどにより、回りにくくなる場合があります。

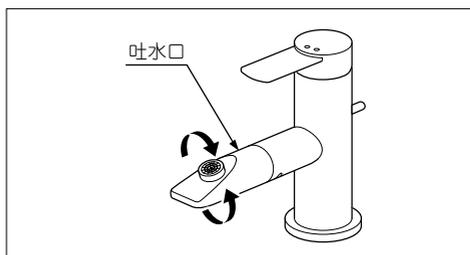
ときどき水で掃除してください。



●吐水口の操作 (月1回)

吐水口を長期間回さずにいると、回転部に付着したゴミなどにより、回りにくくなる場合があります。

ときどき吐水口を回してください。



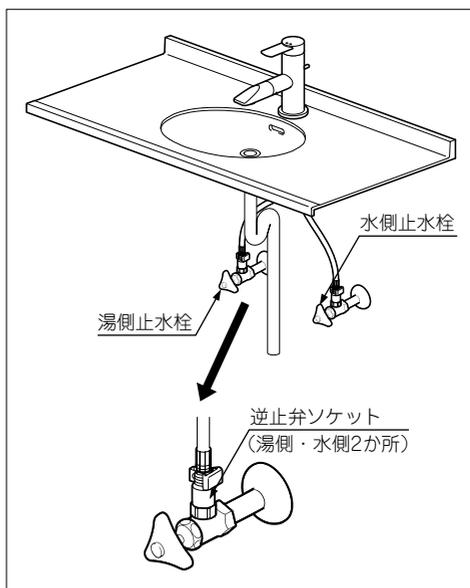
定期的な部品交換のお願い

●逆止弁の交換 (LF-X340SR(C)の場合)

交換時期：3～5年

●逆止弁の交換は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。

●LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。



修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

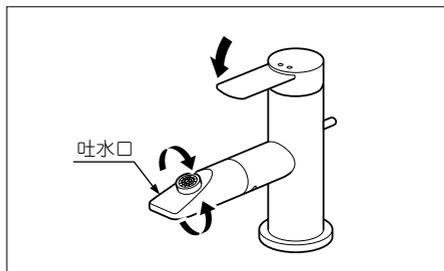
※確認か所名称については「各部の名称」(P.4)を参照してください。

現象	確認内容	処置方法	参照ページ
吐水しない	止水栓は開いていますか？	止水栓を開く	－
	レバーハンドルは閉じていませんか？	レバーハンドルを開ける	P.5
	断水中ではありませんか？	回復するまで待つ	－
流量が少ない	流量の調節は適正ですか？	止水栓で流量を調節する	P.12
	泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	泡沫口の掃除をする	P.9
	レバーハンドルを絞りすぎていませんか？	レバーハンドルを開ける	P.5
	吐水口は横を向いていませんか？	吐水口は上向きまたは下向きで使用する	P.6
	能力切替付の給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力設定は適正ですか？	能力設定を適正にセットする	－
水が止まらない	泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	ゴミ等を水で洗い流す	P.9
	上記処置で故障が直らない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。		
希望の温度が得られない	泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	泡沫口の掃除をする	P.9
	湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか？	止水栓で流量を調節する	P.12
	給湯機器から十分なお湯がきていますか？	給湯機器の設定温度を確認する	－
泡沫キャップより水が漏れる	泡沫キャップのゆるみはないか？	泡沫キャップをしっかり締める	－

●止水栓による流量調節の方法

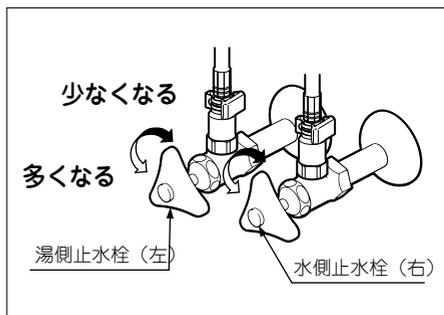
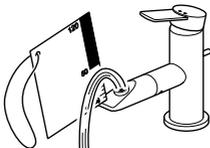
〔流量が少ない場合〕

- 1.レバーハンドルを締め、吐水口を上向きに回転させる。
- 2.レバーハンドルを水側の位置で全開にする。
- 3.水側の止水栓をゆっくり開き、吐水高さが50～100mmになるように、調節する。



ポイント

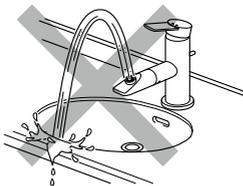
吐水高さの調節には、この説明書と同梱の「流量調節タグ」をご利用いただくと便利です。



- 4.レバーハンドルを閉じ、吐水口を下向きに回転させる。
- 5.レバーハンドルを湯側の位置で全開にし、湯側の止水栓をゆっくり開き、水側と同じ流量になるように調節する。
- 6.レバーハンドルを中央の位置でゆっくり全開にし、吐水高さが120mm以下であることを確認する。

注意

●必ず吐水高さが120mm以下になるように、止水栓で調節してください。
※洗面器の外へ水が飛び出します。



止水栓を全開にしても吐水高さが50mmに満たない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。

〔流量が多い場合〕

- 1.水側、湯側の止水栓を閉じる。
- 2.〔流量が少ない場合〕の1.～6.を行う。

アフターサービスについて

修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（P.11）を参照して確認してください。

⚠ 注意

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日から2年間**です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

修理に際しては、保証書の規定に従って修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

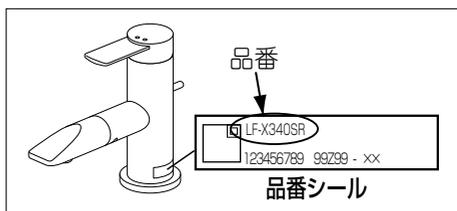
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

“技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（右図参照）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日



《お問い合わせ先》

お求めの取扱店、またはLIXIL修理受付センターに連絡してください。

●お求めの取扱店

●LIXIL修理受付センターまで **365日受付**

TEL ☎ **0120-179-411** 受付時間9:00～20:00

FAX ☎ **0120-179-456**

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。**この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。**保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：吐水口回転式シングルレバー混合水栓		(品番：)	
保証期間	取付日より2ケ年	取付日	年 月 日
お客さま	おなまえ	無効	取扱店名
	おところ		
	おでんわ		
() -		TEL () -	

お客さまへ ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
 ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご購入品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - 用途以外（車庫、船舶及び使用頻度が極めて高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
 - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品（パッキン、ヒューズ、電池等）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ケ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

(夏期、年末年始の休みは除く)

受付時間 9:00～20:00 (365日受付)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp>